

【めむろ未来ミーティング日程 16】

令和2年1月20日(月)

13:30～11:17

毛根地域福祉館

■参加者 9人

■芽室町 副町長、総務課長、農林課長、建設都市整備課長補佐

■記録 池田

■対応・検討が必要な事項

- ①病院の対応の件（公立芽室病院）
- ②学童の連絡件（子育て支援課）
- ③授乳室の件（企画財政課）
- ④学習方針の件（学校教育課）
- ⑤少年団活動の拡充の件（社会教育課）

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
『公共施設の配置構想』
- 4 意見交換

【意見】

公立病院のことについての説明と今後どうするのか説明をお願いしたい。

【副町長】

病院の関係については昨年色々とご心配、お騒がせして申し訳ないと思っている。例の事件はある程度落ち着いた。今院長が不在という中で副院長がそれを代行して継続している。今後は今の診療科目、今の規模をそのまま続けていくというのは正直、非常に厳しいというのが答え。また、お金の面や医者の確保という面もある。町としては、公立病院をな

くすわけにはいかないと思っている。ただ、病院の維持の仕方は院内も含めて様々な議論をしているところである。大きな考え方としては、内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科で、産科は残念だが廃止してしまった。しかし、少なくとも今の診療科目は残したいと思っているが、町の環境を考えたときに車で15分～20分ほどで大規模病院があるので、診療科目をどう整理していくか議論しているところもある。これから病院を利用される方の動向もきちんと踏まえていかなければと考えている。人口時代自体は減っているが今後10年、20年は高齢者が増え続ける。そういった動向や高齢者で今行き場のない方（経管栄養の方など）がいて、この方は老人ホームには入れない。老人保健施設もあるが何か月か後には出てくださいと言われた場合に行き場がない状況で、唯一それを受け入れられるのは大空にある病院のように長期療養型の病院である。そのような病院は今芽室にない状況である。公立病院に入っても4階の病棟は長くいれるが、それ以外は長くいられない状況である。こういった医療ニーズも踏まえ、どういった病院機能にしていくのかというところと、元々ベッド数が150床あるが、今50床使っていない状況で、そこをただ使わなくていいのか、または上手く利用して長期療養や医療と介護を受けながら、ある意味住まいとして長く住めるような制度もできてきてるのでその部分も含めて病院を利活用していきたいと考えている。

ただ、難しい手術や専門的なものをフルスペックで公立病院でとは非常に難しい状況になってきている。そこは専門的な帯広市の病院、医療機関も含めて上手に連携体制を使ったうえで維持していくのが1番望まれるかたちかなと思っている。それと合わせて、西部十勝の町などと連携して芽室の病院と上手く繋げるようなかたちを検討している最中である。おそらく今年の夏ごろには大きな方針を決めていかないといけない時期に来ている。

【意見】

病院の関連。病院に通院するときに高齢者を連れていいくときや、子どもを連れていくときに電話で今

日の診察時間等を確認することがあるが、電話で話した内容と実際に病院に訪れた時の状況が違うことがある。午後の診療は行っているはずなのに休診と言われたり、その逆もある。電話対応する職員の方にしっかり周知や指導してほしい①。

【副町長】

他の地域でも同じような話を聞く。職員の対応や待ち時間の問題など課題があるのは十分理解している。今頂いた意見は必ず担当に伝える。何よりも病院を利用する方が安心できる体制を作っていくなければならないと思っている。先生の都合等により突然休診になる場合もあるが、そこもきちんと情報共有しながら、電話対応やSNSやホームページで情報発信等を改めて職員の意識改革を行っていきたい。

今病院改革を色々進めているが基本は職員の意識改革だと思っている。当然、ドクターや看護師もそうだが、病院に勤める全ての職員が意識を見直して対応していきたい。

【意見】

病院の件。1階の受付の職員は委託だと思うがレベルが低い。こうしてほしいとお願いしたら逆に「こんなことできるんですね」と言われ、こんなことも知らないのかと思ってしまった。先ほどの電話の話もそうだが、電話を受けているのも委託業者の方であると思う。委託の方と職員との繋がりがどうなのかなと思う。

【副町長】

病院に係った医療費を請求する事務や受付、外来とのやり取りなどは同じ会社に全部委託で行っている。ただ、その会社のやり方に課題があって、その会社自体を組み替える手続きに入っている。一方で、委託会社ができる部分というのも限界があるので直営（職員化）に戻そうかという話も実はしている。全員が正職員だとコストが大きくなってしまうことから臨時的な雇用の方もいると思うが、その方が責任の度合いもしっかりするだろうということで見直しをしている。いずれにしても、病院を利用される方

が不安なままにならないように気を付けていきたいと思っている。

【意見】

高齢者交通サービスの件。去年の12月に新聞でも記事になっていたが、十勝の自治体の現状、例えば65歳以上は福祉バスが無料などと書いてあった。また、芽室町の免許返納後の特典はじゃがバスが1年間無料というのが書いてあった。今後は何か特典がついていくのか教えてほしい。

【副町長】

高齢者の交通、足の確保というのは非常に大きな課題だと捉えている。市街地はじゃがバスが走っているが、その路線や時間は大きな課題で毎年見直しながら進めている。現実的にじゃがバスと同じようなバスを農村部に毎日走らすというのはコストもううだが、乗る方の状況も踏まえると現実的ではない。農村部に住まわれている高齢者の方の1番理想のは、家の前で乗り降りができ、好きな時間に行き返りできるのが理想であると思う。それを叶えられる方法としていうとやはりタクシーを使うしかないのかと思う。夏にもやったが2月にも実験してみたい。というのは、農村部の方にタクシーの助成券をお渡しして地域によって助成の単価は変わるが、例えば町まで行く運賃の半分を助成し、半分は手出しになってしまふが利用していただけないかと検討している。それを2月にモニターというかたちで行うので、免許をもっていても構わないので試してみたい方がいれば役場の企画財政課に連絡いただければ対応する。

ただ、助成の回数は制限させていただくが、複数でタクシーを利用してもらえば手出しが少なくすることもできる。そういうことも含め、色んなやり方があるが町がやろうとしているこの制度は鹿追町でやっているものである。この方法が1番町に行きたいときに行けるのではないかと思う。

【意見】

今の話は農村部だけだったが、市街地はその制度

ないのか。予定がないときは親を送迎できたりするが、できないときはタクシーを利用しているので市街地の方にも何枚かタクシーの助成券を配布してもらえないか。

【副町長】

今町でやっているのは、個人個人の事情でどうしても制限がかかる人に対してはタクシー券を渡しているがどちらかというと障がいをお持ちの方などである。当然じゃがバス走っていて60箇所が所バス停があるが、自宅から概ね200m圏内にバス停を置いても遠いという話もある。路線も全て固定ではないので4月以降もう一度地域に入って路線をどうしたらいいか話し合いをしたいと思っている。今の路線が始まって10年経っており、その時の状況と変わっているので改めてバス停の場所や進み方を変えていきたいと思っている。

今の段階で全ての高齢者にこのような助成券を出すまでには至らないが、これも今の状況が全てではないので、今後の状況も見ながら検討していきたい。

【意見】

関連しての意見。86歳の母が車に乗っている。もうやめなさいと言っていて、おそらく春からは乗らないと思う。車に代わるタクシーか何かの手配をしなければいけないと思っている。町で助成してくれたらいいなと思う反面、どこまでサービスをするのかということをいいたい。母が車に乗らなくなったらタクシ一代の料金を出すからそれはそれでいい。

しかし、そこにお金をかけるのは本当に困っている方ならいいのだがそこまで全部サービスしていくと他の色んな部分に影響が出るのではないかと思う。

例えば、昔はやってもらっていた道路整備も年数が経ってしまっているのでボコボコになっているところがある。やっぱり予算がなくてできないという話を聞いていて、できない事情もわかるがその中である程度お金持っている高齢者まで面倒を見る必要ないと思う。町全体ということもあるので、さじ加減というかバランスを上手くやってほしい。

【副町長】

今のような意見もいただいたので今の芽室町の現状を改めて共通認識取りたいと思う。

人口減少の話があった。昨年末12月31日の芽室町の人口が18468人であった。その1年前の12月31日は18667人で、1年間で200人人口が減っている。先日帯広で800人減ったと出ていたが、人口が減るというのは止められないと思う。町長とも同じ考え方だが、他の町から人口の奪い合いをしている時代ではなく、それよりも地域に住んでいる人が住んでいて良かったなと思えるような状態でなければ町としては続かないという考え方を持っている。

先日の12日に成人式があり、その案内を出したのは芽室で200人に送った。全ての方が芽室で生まれたわけではないので変動はあるが、200人に招待をして、その時に昨年1年間芽室であった出来事をまとめたビデオを流したのだが去年の春に芽室の中学校で卒業証書を渡した子どもが160人であることが流れた。単純ではないがそこで40人減っている。その子たちは高校や大学に行き、芽室に戻ってくるのかというのはわからなく、町づくりに影響していくと思う。去年1年間に芽室町で生まれた子どもがついに100人を切った。ということは6年後、その子たちが小学校に上がるとき100人しかいないということである。転入・転出などで多少の前後はある。単純計算で今小学校1学級35人なので、町内で3クラスあれば足りてしまう。ただ、上美生小学校、芽室南小学校という地域性があるので学校を簡単になくすことはできない。芽室小学校と芽室西小学校で3クラスで足りる時代が6年後やってくる状況である。少し気になるのは、去年生まれたお子さんの今住んでいる通学区域を考えた時に上美生小、芽室西小、芽室南小はだいたい今と同じぐらいの人数で6年後いく予定である。芽室小が去年の春1年生が100人いたが、6年後60人になってしまう。よって芽室小が2クラスでいい時代がやってくる。当然その子たちが芽室中、芽室西中と分かれるからそこでも同じようなことが起こると予

想される。町内に1クラスや2クラスの学校を置き、維持していくのが本当に教育効果としていいのかということを遠い将来ではなく、近い将来議論が生まれてくるという状況だということはご理解願いたい。

もうひとつ、今人口が減っていく中で高齢者は増えるが、若い働く世代が少なくなっていく。町は収めていただいた税金を皆さんに還元するのが仕事である。これから人が減っていく中で、1戸あたりの農家さんの収める税金の金額は上がっていくと思う。それに比べ、働いている給与所得の方というのは人口が減っていくので比例して減っていく。そうなると税収自体もどんどん小さくなっていく。その状況の中でインフラをどう維持していくかというと、道路、水道やその他色々なものを維持しきれなくなってくるのも、もしかしたら遠い将来出てくるかもしれない。そういう中でサービスはどうするのかとなるが、やはり自分でできることは自分でやっていただき、どうしてもできなかった場合、というのは地域であったり役所であったりというところで支援をしながら生活をしていくのがやはり必要になってくると思う。本当に真に困っている人には支援してあげなければいけないけど、そういう時代が近い将来やってくる。そういうことも理事者としても想定していることもご理解いただきたい。

【意見】

学童の件。孫が学童に通っている。先日、友達と遊んでいた最中に怪我をしてしまい、子どもたちの間の怪我というのはよくあることだし、それはいい。だが、その怪我をしたのは午前中であったらしく、孫は腕を痛がり先生は湿布を張ってくれる処置をした。夕方親が迎えに行くと、顔色が少し変で病院へ連れていったら肩が外れていた。それが半日放置していたことになる。やはり学童の先生の意識というか、何かあったときは親に連絡してほしいと思うので、先ほどの意識改革の繋がりでお願いしたい②。

【副町長】

申し訳ない。当然学童も指導員がついて見ているが、子どもの状況を見ていかないといけない。

何かあったら保護者にしっかり連絡する体制をとっているが、ちょっと行き届いていなかったのだと思う。子どもセンターだけではなく保育所含めて改めて、私の立場から周知して徹底したい。

【意見】

先ほどの話の中での要望。高齢者に対してのタクシー助成制度を私が7月にモニターをした。その時は自分たちでできる部分はやろうという形でやっていた。その時は自分たちで対応できたが、農家にとって繁忙期である8月9月の時期に再度モニター制度をやっていただけだと嬉しい。

また原則、前日に明日何時に行きたいのと連絡する必要があるので、急遽当日行きたいとなった場合、タクシーが空いているのであれば利用できる制度にしていただけだと嬉しい。

それと、別の話になるが、今年子どもが生まれて今まで利用していなかった色んな施設を利用させていただくようになった。夏はまだお散歩したりできるが、冬場は寒くて外で散歩するのもなかなか難しいので、何か冬場子どもが遊べるようなところを増やしてほしい。

また、授乳室が芽室町はかなり少ないという感じがする。子どもを連れていろんなところに行こうとするが行けない。授乳室等のスペースがある施設に行こうと思ってしまので帯広の商業施設とかに行くことが多くなった。町にもそういうスペースが増えれば行きやすくなると感じた。検討をお願いしたい③。

【副町長】

1つ目は、タクシーの助成券のモニターについて。助成券を使う使わないを別にして、このような制度を知っていただくだけでも認識が変わると思っている。実情からいうとご存じの通りタクシー会社が芽室に1社しかなく、非常に厳しい状況である。本社は帯広にあるが、当然このモニター制度をやるときにタクシー会社と相談した。その時に配車の数をみると予約しないと100%対応できないと当時タクシー会社から言われていた。ただ、これが本格的な

制度化になるとやはりニーズも高まってくると思うので、逆に帯広からタクシーを1台追加することや新しい車を入れるなどということもタクシー会社は想定しているようである。なるべく当日の要望にも答えられるようなタクシー配車を目指したい。ただ、タクシーも車があってもドライバーがないという大きな課題もあるのでそこも含めて会社と連携しながら進めていきたい。

そして、もう1つ冬の散歩の件について。このお話は他の地区でも言われたことである。今から新しい施設を作って子ども専用の何かをつくるのは、なかなか難しいが、今ある施設等に魅力を1つ加えるだけで使いやすかったり、利用してみたいと思えるようにするのは、まだまだできると思う。それと併せて今、新嵐山も考え方を見直して再整備していきたいと考えている。スキーコース、宿舎、閉鎖をしているがキャンプ場という機能は当然残しておきたい。たくさん土地があるのでもっと魅力あるものを作り、そこに町民の方がいい場所だと思い、また他の町に紹介したいと思ってもらえるような場所にしたいと思っている。当然その対象には子どもさんというのも入っている。100%それぞれの希望が叶うところにはならないかもしれないが、そういう意識を十分にもってやっていきたい

それと、授乳室について。町の公共施設で授乳室を設けるというのは物理的には可能だと思うのでそこは改めて点検していきたい。ただ、民間の施設については、役場から授乳室を付けてほしいというのは言えそうで、なかなか言えない部分である。1対1ではなく、みんなで集まれる場があれば、芽室町としてはこういう取り組みをしているのでぜひ参加や協力をしてくれませんかという声掛けができると思うので、そこはご意見あったとおりこれから声掛けていきたい。

【意見】

近年、労働者の労働力不足ということで特にここ1、2年派遣でも人を集められない状態が続いている。その中で、去年や一昨年のJA懇談会や未来ミーティングで町とタイアップして例えば住宅を確保

して作業者を集めるような話を聞いた。その後その経過報告をわかれれば聞かせてほしい。

【農林課長】

先ほど説明した資料1の部分の下の方、雇用促進住宅というのがある。ここが今お話しにあった農業事業者に限らず町内で仕事に従事される方の短期的な居場所ということで今整理している。今年の夏以降に供用開始となると思うが、全部で24戸分の住宅の確保は今やっている状況であり、JAの担当部署とも情報共有し合っている。当然情報提供をする必要はあるのでこの施設の整備の段階をみながら逐一JAを通じて皆さんに情報を発信していきたいと思っている。

イメージでは、町がそこを貸すのは企業や農家。それで企業や農家に働きに来る方がそこに住む形である。個人の契約ではなく、雇用主と町が契約をさせていただく想定であり、短期と言ったのは、何年間も住まわれる方は民間でお貸しできるが、夏の間だけということや半年だけでは民間は入りづらいというのが現状。その部分の方の住宅を確保しようということで町が基本的に1年間に満たない短い期間の方にこの住宅を提供するということで進めている。状況が進んできたらまた情報提供していきたい。

【副町長】

国立農試の官舎である、白いコンクリート造りの建物が4棟あるのだが北側2棟はまだ試験場の方が入っている。南側2棟は入っていないくてそれを町が去年購入した。中を見るとまだ手直ししなくても使える状況である。ただ、全部の部屋が3LDKであり、すべてファミリーを想定した設計の建物であるが、企業は個室がきちんとあれば1部屋に3人住ませられるから全然問題ないと言っていた。農家も例えば2件の農家さんが一緒になってその場所を借りてそれぞれの従業員を2、3人に住んでもらい、お風呂やキッチンはシェアハウスのように共有してもらう使い方ができないかと少し想定はしている。あるいは、物理的にRCで3LDKを間取り変えるというのは難しいので上手く使おうというのが今の状況

である。企業も短期で住むところがないという問題があり、非常に大きな課題である。ウィークリーマンション的なものも含めて町として町内で働く方にそういった場所を作りたいと思っている。

【意見】

少し前に新聞でも出ていたが、中学校の宿題なしという町村が出て来て、芽室西中も3年生も宿題なくて、自分で任せて勉強させるという形をとっていると思う。その辺を町としての方向性を聞きたい④。

また、地域福祉館の取り壊しが始まるにあたって、中の物とかいる物、いらない物を分けて出すと思うが町の物に対して地域がほしいとなったときに払い下げなどを考えているのか。

【副町長】

1点目、基本的にそれぞれの学校運営というのは校長先生の裁量であり、中学校は中学校同士決めごとがあり話し合いながらやっていると思う。ですから、芽室西中学校の取り組みが全て町として統一してやるということにはならないかもしれないが、それが学習効果に繋がるということであれば当然、全校統一してやっていかなければならぬ問題である。そこはそういった話があったので今一度確認というか、芽室の小学校・中学校としてはどういう方向でいくのか皆さんに伝わっていないからこういう話が出てくると思うので私から教育委員会、教育長にこのような話があったことは伝える。

【公共施設マネジメント係長】

来年度会館を取り壊していくが、その中で備品として不要な物が出てくると思う。それで、全部お渡しできるかというのは難しいところはあるが、町も処分費払って処分するよりも使えるいい物もあれば、地域の皆さんと相談しながら進めたい。

【意見】

町でスカイアースや日ハムなどと連携協定など色々取り組んでいることは大変素晴らしいことだと思う。そして子どもたちもとてもそのような活動に

喜んで参加している。私の子どもが野球をやっているのだが、N P Pのジュニア、日ハムジュニアとかとせっかく調印してやっているのであれば各少年団などにも、こんな活動があるだとか紹介してもらい、少年団等の底上げできたらいいなという要望である
⑤。

【副町長】

了解した。基本的な考え方としては野球に特化したりだとかサッカーに特化したりということではなく、文化も含めて色々本物を見てもらう機会を広げていくというのは継続していきたい。

日ハムについては3年間の協定を結んでいるので、2年目、3年目に入るにあたって今仰ったことも含めて今後できないか調整させていただきたい。

子どもが本物を見て目が輝くというのは1番いいことですので、更に上を目指してもらうというキッカケ作りは当然行政としてはやらなければならない。色々な部分で教育委員会と私たちの部局と調整しながら、そのような意見があったことをきちんと伝えていきたい。

【意見】

最初の資料の説明部分について、参加していなかったので少しお聞きしたい。車両センターの移転の件で、資料に矢印が付いているがこれは製糖会社の東側辺りを想定しているのではないかと思うが、もしそうなった場合それは何年後の話になるのか。

【副町長】

町としてはJRから南側である19号から帯広栄までの南1線と2線の合線までとJRの間だけ、将来工業系の土地利用にしたいという意思決定をしている。ご存じの通りの農地を簡単に農地転用できない状況があるので、なかなか前に進んでいなというのが正直なところである。本当は19号沿いくらいに車両センターを持っていければいいなということで色々北海道と調整しているが、なかなか了承が得られないのが現状。いずれにしても芽室西小の横にその機能があること自体、住宅地の中としてはあま

りいい状態ではないので、なるべく早く移転をした方がいいなと思っている。また、先ほどの子どもを増やしたいというのもあるので、なるべく早く今の部分を宅地にした方が児童対策も含めていいのだろうと考えている。ただ、もう少し時間がかかるだろうと思っている。

【意見】

新庁舎を建てている間、今の役場内の職員の密度が高いが、人手不足などはあるか。

【副町長】

基本的に職員の数自体をこれから増やすというのはなかなか難しい。高齢者が増えていく中で相談機能や保健師であったりの専門職というのは増やしていくなければ回りきらないだろうと思っている。ただ、一方で管理部門などは全て今まで通り直営でやっていかなくとも外に委託かけられればできる仕事はまだあると思う。総体の数自体は200人くらいでみている。そんなに変わらないだろうと思っている。ただ、今工事している間、相当人口密度が高いが、その状況の中でコミュニケーションが高くなつて、隣の課が何をしているのか全く知らないという雰囲気があったが、隣で何が起きているかだと少し手伝ってということなどということが増えた。なので、そういう意味でいくと横の繋がりという効果が生まれてきた。今1つの課が全て問題解決できるという時代ではないので色んな課と連携しながら物事解決していく時代なのである意味連携を取りやすくなっていると思う。新庁舎は全部平場で同じフロアになるのでもっと連携取りやすくなるのではないかと思っている。

【意見】

人手不足が深刻ではあるが新採用職員の応募はあるのか。

【副町長】

今年の春採用は3人で、定年退職が0である。普通で行けば採用はしないのだが、来年は7、8人定

年退職がいるので、少し前倒しで年齢バランスも考えて採用した。ただ、帯広市、芽室町、幕別町、音更町はまだ募集しても人が来るのでまだいいのだが、やはり先ほども言った高齢者自体が減っている町村は非常に苦戦している。今十勝の町村で採用試験を一括で行っている。統一試験を行い、それで各町村に面接に行くが、町村の順番決めて最初に内定出したところが強いので毎回揉めている。それも一定のルールを決めて、今年1番であったら来年18番というようにずっとローテーションしながらやっている。



11:17 終了